



中国のインターネットバンキングについて

北陸銀行 国際部
大連駐在員事務所
金春梅

1. はじめに

当事務所では、今年の4月からローカル銀行である中国銀行のインターネットバンキングの利用を開始しました。5か月間利用してみて実感したシステムの利便性について紹介させていただきたいと思っております。ご参考になれば幸いです。

2. インターネットバンキングの操作について

中国では口座開設時に、銀行からインターネットバンキングの利用を積極的に勧められます。年間使用料は400元(6,800円/年)程度であり高くないため、インターネットバンキングを使う企業も増えてきています。

(1) 事前設定について

インターネットバンキングを使用するには、事前の設定が必要です。まず操作権限を受けた本人(担当者、管理者(複数設定可能))が身分証明書を持って銀行で申し込みをしなければなりません。その後、会社のパソコンに中国銀行のインターネットバンキングソフトをインストールし、中国銀行から貸与されたUSBKeyをパソコンに挿入して暗証番号を設定します。



【USBKey】

(2) 外貨両替

日本円を人民元に両替する場合、以前は2日間かかっておりました。翌日の入金とするにも前日の午前10時までに銀行に書面で申請する必要がありましたが、インターネットバンキングでは銀行の営業時間を気にせず、画面操作だけで済みます。中国銀行の場合、100万元(約1,700万円)以下であれば、法人も個人も時間制限はありません。

両替の画面には、その時点の為替相場と両替額も表示されるのでとても分かりやすいです。中国では日本のような公表相場は使用せず、都度その時点での相場を使用しています。そして、手続きが完了すると直ちに人民元が入金されると同時に、操作関係者の携帯にショートメールで入金メッセージが入るので口座確認ができます。

インターネットバンキングでは、パソコンの画面で残高明細、取引控え、利息表、異動明細などの確認と印刷ができます。小口現金引出以外は銀行に行く必要がなくなり、かなり効率的になります。

3. インターネットバンキングの安全性について

操作は、権限付与された操作者だけが事前に登録したパソコン(あるいはスマートフォン)で、設定された限度額内でのみ行うことができます。振込の操作手順はやや複雑ですが、振込ミスリスクを最小限に抑えることができます。これらのセキュリティのほか、下記のような設定もあります。

(1) パスワード

中国銀行の場合、複数のパスワードを設定し、場面ごとにパスワードを使い分けます。インターネットバンキング画面に入るまでに異なるパスワードを2回入力し、管理者が承認操作をするときに改めてパスワードを入力します。

(2) USBKey

USBKeyは操作者ごとに1つずつ配られます。またUSBKeyのパスワードも各自で設定することになっています。先にUSBKeyをパソコンに挿入しないと一切操作はできません。つまりパソコンとパスワードだけでは振込ができないので、ほかの人が代わりに操作してしまう可能性は極めて低くなります。

(3) ショートメール

入出金の際には、会社が許可した関係者(例えば、経理担当と管理者)の携帯電話にショートメールで連絡が入るのでその都度確認が可能となり、不正の防止にもなります。ショートメール通知費用は一人10元/月(約170円)です。

4. おわりに

当事務所では、以前は経理担当者が上司の時間に合わせて小切手の振出業務を行っていましたが、今は担当者と上司が別々に作業するため、相手の時間に拘束されずに支払いをスムーズに行うことができるようになりました。さらに、小切手の誤記入による書損も気にする必要がなくなりました。

近年、電子商取引の発展に伴い、インターネットバンキングの利用率も年々増加しています。今回は、インターネットバンキングを活用した中国の多様な「キャッシュレス決済」(微信(WeChat)・支付宝(Alipay)など)についても紹介したいと思います。

以上

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。

記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださるようお願いいたします。

ほくりく長城会

海外ビジネス情報

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局

〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F

((株)人材情報センター内)

TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565

E-mail: info@chojo-hokugin.jp